

避難所体験訓練

《目的》 堅苦しい避難訓練から脱脚し、楽しく家族で参加できる
地域のつながり強化、互助の意識を育てる機会とする

《体験
内容》

- ・炊き出し訓練 ・100均で防災グッズ
- ・簡易トイレ組立体験 ・テント組立体験
- ・ダンボールベット組立体験 (市販のもの、子どもの創作)
- ・火起こし体験 ・起震車体験
- ・防災カルタ大会 (創作カルタづくり)
- ・避難ロールプレイ ・避難経路の確認
- ・危険箇所の確認 (大竹地区マップ)

防災リーダー (大竹小学校校区)



小方グループ

⑤ 防災フェス in

晴海

(大竹市・大塚市に!!)

① 企画者名簿

② 訓練の目的

防災意識を高める、防災知識を身に付け、いざという時に動く市民、地区を増やす!!

③ 目標

来年(令和8年)

(晴海公園) 「ハックグラウンド」

9月1日(防災の日)

人数

3万人

(市内 2万人)

(市外 1万人)

④ 企画内容と担当者

体験型の防災フェスタ

(防災リーダー)

- 地震体験車 (〇〇さん)
- 防災バッグプレゼント (〇〇さん)
- 消火器体験 (〇〇さん)
- 炊き出し体験 (〇〇さん)
- 豪雨体験 (〇〇さん)
- 車イスサポート体験 (〇〇さん)
- 高所体験 (〇〇さん)
- 障害、高齢 疑似体験 (〇〇さん)
- スタンプラリー (〇〇さん)
- 在宅での安全確認 (〇〇さん)
- 防災ボールトイルバット (〇〇さん)

2025年11月15日(土)

下見息、十、六、共、六、
重、六、

(イ) 老若男女を結び付け「災害死ゼロ」にする。!

(1) 参加人数在 100 名程度

(ロ) 防災クイズの正解率 → 限りなく 100%

(1) 隣近所の交流

(1) 避難訓練 (想定地震津波) (防災部長)

(12) 各班长毎での誘導 (トラロープ等での) (各班长)

(ii) 要支援者の移動補助 (リキカー等) ⇒ 消防団
地元

(二) 消火訓練(消火器を使用) ⇒ 消防署、団

(ホ) 火気出し(もち付と一諸に) (防災)-ダー

(ハ) 防災グッズ(全員で) (A1)

訓練名: まるごと楽しい防災フェス!

1. [] 南海トラフ地震、震度5強津波 $z \sim 5$

2. { } 芸子地震, 2001年. H13. $\frac{3}{4}$ M. 6.7 震度5 強弱

3. [] 玖波6丁目には自主防災組織がある。

4. [] 第1次避難場所 (玖波小学校)

5. { } 第2次避難場所 (規模に順次開設)

6. [] 備蓄、備品について、玖波、小中両校にある

7. [] 毛布(20枚, 40枚, 60枚)枚程度備蓄.

8. [] 地震の揺れを感じたら、窓の近くに行く。

9. [] 火災が発生した際、エレベーターを利用するのは安全

10. { } 非常食(350^食、450^食、550^食)程度備蓄